1. リアルケースシナリオ　　　福井大学
2. リアルケースシナリオの変更点

　14回大会までは　　現状の生産工程では1000台生産不可能

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　↓

　　　　　　　　　　　　設計工程変更によって短縮を提示

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　↓

　　　　　　　　　　　新規設計によるコスト変化・強度問題の対応

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　↓

　　　　　　　　　　　　準備資料のFCAや解決案提示

　15回大会では　　組み付け性に問題有

　　　　　　　　　　　　→・どのような課題があるのか自分自身で考え、改善

　　　　　　　　　　　　　・設定した課題についても審査

つまり、審査員の求めることは「時間の見積もり」だけでなく「改善の工夫」に対するアプローチ

1000台生産の是非については問題でなく現場工員からでた組み付け性の問題点にに対して解決方法を考える（ここは担当者のアイディアのだしどころ）

　提示された代替案―設計変更を行った目的を解説

　変更には必ず理由があり、その発表を行う

　提案の信憑性、実現性　【コスト・製造方法・強度解析】のいずれか一つに絞って検討

発表時に意識したこと

　予想外の質問に答えられなくてもOK　　　考えてきた姿勢を見せる

　シナリオであることを意識(行員がミスしやすいところが設計者に伝わっているというシナリオ)

　「プレゼンテーションスキルについては採点対象外は嘘」→相手に伝える事

→プレゼン能力だけでなんとかしようとしないこと。

2.コスト審査の進め方　　名城大学

　コスト人員、日程の進め方

　　　コスト班　　2人　　日程管理、修正を行う

　　　12月～　　　1年生向けコスト講習会を行う（ここで書き方をチーム内で統一する）

　　　設計終了後　図面、FCAの提出

　アキュラシーの獲得

　　　3回は修正を回す→図面は紙、FCAはデータ修正

　　　　　　　　コスト班が担当者のレベルに応じて修正させる

　分かり易いレポート

　　　・製品番号を載せる

　　　・アダプター等をまとめて載せる

　リアルケースの方針

　　　説明を手短に―質問に答える時間を取る

　　　解決案を多く出せるようにするために企業訪問

　　　プレゼン練習時に時間無制限に質問攻め

　当日審査

　　　追加コスト500枚―質問を事前に想定

3.コスト～俺たちのやり方～　　大阪大学

　コスト審査…

　　　アキュラシー　40点　　価格　40点　　リアルケース　20点

　　コストレポート　　毎年毎年、色を変えて区別をしている

　　　　　12月頃に、図面講習会を開催してチーム内で図面の書き方を統一

　　複合材使用リスト

　　　　材質、構成リストをつくる―わかりやすい図を用いる！

　　コスト作成は、5月下旬から行っている。

　　　　　　　デザインレポート提出前までは、8人、デザイン後15人

　　チェックリストを自作、作成したひとがコメントを残せるような形にする。

　Wing Lessのチームに価格の面では勝てない→その他でコストを抑える

1. Processの選定→例)5軸のマシニング
2. 削り代、持ち替えの削減

　　リアルケース　裏付けを取得

　　　　　　　　市販車の生産現場を把握　OBに聞く等

今年のコスト　　名古屋大学

　役割分担

　　　　　コストはB2、B3でチェックはコスト班B4以上で行う。

　　　　　ファイナルアッセンブリのみコスト班長　1人

　コスト班　シャシー、パワートレイン各部門から　1学年1人ずつ

　　　　　　　　　　　　　コスト班→レポートのチェック

　　　12月末に　B1全員にコスト説明書と宿題

　　　　　　　　　　　　　　→出来がいい人から各部門から引き抜き

　　　春休みシェイクダウン　　　1か月後　全提出

　　　　　　　　　　　　　　　　GW　　　2回目の提出

　　　　　　　　　　　　　　　　5月中旬　ファイナルアッセン用のCAD

　　　　　　　　　　　　　　　　5月下旬　3回目提出、印刷

　　　　　　　　　　　　　　　　デザイン提出後の土日　　全員でチェック

　　　今年の反省　　　　マクロ導入で楽になった

　　　　　　　　　　　　提出直前にチェックの司令塔を設けたことにより、指示が的確

　　　　　　　　　　　に出された

　　　　　　　　　　　　シェイクダウンが遅れたにもかかわらずコストの提出期限を変

　　　　　　　　　　　えなかった

　　　　　　　　　　　　教育不足　説明書と宿題が分かりにくかった

事前質問

　　Accuracyを向上させるには？？

　　　　冶具の図面－裏付け資料を増やす

　　図面で断面図を入れるべき部品は？？

　　　　アップライト、ハブ、スロットルボディ　(複雑形状のもの)

　　Materialで用意する鋼材について

　　　　最小限の鋼材を計上、鋼材の外周は1mm削る(例えば旋盤のチェックの所を考慮？)

　　アッセンブリプロセス(〇〇kg)について

　　　　片方だけ計上(重い方をしたに軽い方を持ち上げていると仮定する)

　　進捗報告の仕方

　　　　白紙でも提出させる(本当の進捗状況がわかる！、担当を振っていないところを確

　　　認することが出来る）

　　コストの修正

　　　　修正する側の統一意識